

編集・発行：福岡大学附属大濠高等学校新聞部

福岡市中央区大本松1-12-1

印刷：株式会社ハザマ印刷



2～4面

報道 部活動 剣道部、柔道部など

5面

大濠生特集 硬式野球部初の女子部員

6・7面

校内特集 他校との生徒総会比较

8・9面

特集 豪雨の被害

10・11面

戦後80年特集 被爆を語る

12・13面

特集 服部知事にインタビュー

14面

特集 高校生の地域活性化 行政が支援

15面

特集 靴磨き 自分を見つめなおす

16・17面

特集 地域猫 外で暮らす猫を支える

18・19面

特集 プラネタリウム100周年

20面

校内特集 文化祭 耐震化工事で一般公開制限

展望台

筋萎縮性側索硬化症（ALS）という病気を聞いたことはあるだろうか。ALSは、まだ治療法がない後天性の指定難病だ。神経の異常により、徐々に全身の筋肉が動かなくなる。手が動く段階では筆談、口が動けば口文字、目が動くなら文字盤を使いコミュニケーションを取る。病気が進行すると、自分で呼吸ができなくなるため、気管を切開して人工呼吸器をつけながら一生を過ごすか、そのまま死ぬかを選択しなければならぬ▼ALSのドラマを観て私は、患者の立場になったつもりで気持ちを考えて、理解しようとす

る努力をやめてはいけないう思った。もちろん、その複雑な気持ちや感覚は計り知れず、完全に理解することはできない。意思疎通も決して簡単ではない。しかし「どうせ理解できない」「どうせ話せない」と勝手に壁を作ってしまったら、患者の孤独は深まることになる。体が痛い、呼吸ができないなどの助けを求める心の声に気づくこともできない▼寄り添うべき相手は、病気を持つ人だけではない。日頃、自分の意思を十分に伝えられていない人は少ないのではないだろうか。表に出せていない思いもたくさんあるはずだ。もし患者が目を見ても、こち

らが文字盤を使おうとしなければ意味がないように、一方が寄り添うことをやめた時点で、相手を理解することはできない。私自身、人と簡単に距離を取ってしまうことがある。その結果、無意識のうちに視野が狭くなっていると思う▼他人のことを理解するのは難しい。それでも「どうせ」と諦めるのではなく、相手の表に出ない思いを汲み取ろうとする姿勢を持つことが大切ではないだろうか。視野を広げること、避けることのできる軌轢もあると思う。できるだけ寄り添い、時間をかけてコミュニケーションを取ってみてほしい。（原岡）

剣道部 玉竜旗 連覇 IH 個人決勝 大濠対決

大濠剣道史に名を刻む

玉竜旗 連覇
大将戦は一度きり

7月25(29)日に福岡市総合体育館で第96回玉竜旗高校剣道大会が開催された。本校は昨年に引き続き優勝し、14年ぶりの連覇を果たした。

2回戦の大分上野丘との試合では、先鋒の亀山浩武さん(3年)が5人抜き、3回戦の関西(岡山)と6回戦の八女との試合では次鋒の野口拓秀さん(3年)が4人抜きを達成した。準決勝を勝ち進み、迎えた決勝では九州学院(熊本)と対戦した。先鋒の三宅陽一朗さん(2年)がコデで勝つも、その後相手の次峰と引き分けた。次鋒の野口さんは敗れ、中堅の矢野佑紀さん(3年)と副将の林晃毅さん(3年)はそれぞれ引き分けた。大将戦では森大颯さん(3



IH表彰式で並ぶ両雄
林さん(左)、森さん(中)

IH個人 優勝・準優勝
目標通りの大濠対決

団体と個人で森さん、林さんは8月7(10)日にかけて広島県立総合体育館で行われたIHに出場し、個人で森さんが優勝、林さんが準優勝した。

10日の個人準決勝では、ともに延長戦の末、決勝進出を決めた。迎えた決勝は史上初の大濠対決となり、4回にわたる延長の末、森さんが引きドウで勝利を収めた。森さんは「晃毅とは今まで何度も戦ってきたが、勝敗は時々で異なっていた。今回も終わるまでどちらが勝つか分からない試合だった」と振り返った。林さんは「小中でも大会で大颯と戦っていて、IHでも戦いたいと思っていた。トーナメント表を見たときから、決勝で大颯と対決することが目標だった」と話した。また、団



とりが想像以上の活躍をしてくれたことが結果に繋がった」と語った。

IH個人決勝は18分以上にわたる長丁場となった

国スポ 団体優勝
14年ぶり優勝に大きく貢献

9月29日に滋賀県の湖南市総合体育館で国民スポーツ大会が行われた。森さん、林さん、野口さん、矢野さんが少年部門の福岡県代表として団体で出場し、優勝した。(熊谷、原岡)

弓道部 国スポ 出場
予選通過できず悔しい

9月28(30)日に行われた国民スポーツ大会に少年女子部門の福岡県代表として西本藍子さん(3年)と西田莉桜さん(3年)が出場した。西本さんは「8位以内で予選を通過できたがあと一步届かなかったので悔しい」と語った。(古庄)

バスケット IH ベスト8
正確なフリースローで追走



準々決勝で13得点したサントスさん

バスケットIHが7月27日(8月1日)にかけて、ジブアアリーナ岡山で開催された。本校は惜しくも準々決勝で敗れ、ベスト8に終わった。準々決勝は八王子(東京)と当たった。第1・2Qで、村上敬之丞さん(3年)が13得点した。相手のゾーンディフェンスに苦しんだがフリースローで確実に点を重ねた。一時は13点ビハインドを負うが第3Qに逆転。しかし、リードを保てず、第4Q後半でファールゲームに

持ち込むが相手に逃げ切れ、63対71で敗れた。ゴール下で奮闘したサントス・エルハジメさん(3年)は準々決勝を振り返り「ミスが多く、相手のディフェンスにも対応しきれなかった。しかし、フリースローの成功率が高かったのは良かった」と語った。(七澤)

柔道部 金鷲旗 ベスト8 IH個人・全日本ジュニア優勝

竹下さん 大会を席捲

金鷲旗 ベスト8
強豪校に打ち勝ち
ベスト8進出



「大学生になったらリベンジしたい」と話す片桐さん(右)

竹下さん IH優勝
向かうところ敵なし
幾度も日本一に輝く

8月13(17)日にかけてジブアアリーナ岡山で行われたIHで、100kg級で竹下さんが優勝、81kg級で片桐さん、66kg級で福田成優さん(3年)が出場した。竹

下さんは「必ず優勝する」という思いで臨んだ。プレッシャーに打ち勝ち、終わった後には喜びよりも安堵が勝った。盛大に応援をしてくださった力になった」と振り返った。片桐さんは2回戦で今大会優勝者と対戦し、敗北した。「研究や対策などできることはしたので、負けてしまった方がいい勝負ができた。自分の力が全国でも通用すると分かった」と話した。また、竹下さんは9月14日に全日本ジュニア柔道選手権大会に出場し、100kg級で優勝した。今大会は20歳以下に出場権があり、竹下さんは4人の大学生を圧倒した。「優勝する自信はあったが、この大会でさらに自信を持てるようになった」と話した。さらに、竹下さんは10月7日の国民スポーツ大会に、福岡県代表の副将として出場した。竹下さんは全試合で勝利してチームを優勝へ導いた。(吉瀬、三木原)

バレエ部 全九州私立 優勝
圧巻の勝利で嬉しさと安心感



「観客へ楽しい演技を届ける」という思いで演技する応援指導部

気が悪くなっ てしまったそう だ。秦さん は「そんなときも目標だった5位に向けた思いがチームを一つにした」と振り返った。(川頭、七澤)



スパイク練習でギャラリーまで上げる新山さん

バレー部は全九州私立高校大会で、予選・決勝トーナメントともに全勝し優勝した。最終試合では、昨年の春高で準優勝した東福岡にストレート勝ちを収めた。背番号1番で出場した新山明さん(2年)は「1・2年のメンバーで出た初めての大会

だったが、優勝できて、安心した。自分は言葉でチームを引っ張ることが苦手なのでできなかったが、みんなが声を出して支えてくれた。今後はプレーで魅せていきたい」と話した。(岩永)

30年たったら一眺めどう！福岡大学附属大濠高等学校同窓会

福大大濠高校 第73回大同窓会

- ・日時 令和8年5月9日(土) 受付開始14:00/開演15:00
- ・会場 福岡大学附属大濠高等学校

同窓会には以下の支部があります
関東、東海、関西、糟屋、筑紫、久留米つづじ会、
◎懇親会や母校クラブの応援等を行っています。

会長 河邊 哲司 (21回卒)
事務局 福岡市中央区六本松1-12-1
TEL 092-714-1681
E-mail info@ohsa.jp
HP http://www.ohsa.jp

みやま市本社工場

冷凍食品製造・開発

ハちゃん堂

6回卒 川邊義隆

ベトナム ホーチミン工場

新聞部 全国優秀賞

楽しめる
レイアウト作りを意識

新聞部は第29回全国高校新聞年間紙面審査賞の優秀賞(最優秀賞)5校に次ぐ7校に与えられる賞を受賞した。審査対象は一昨年の11月から昨年の10月にかけて発行された全ての新聞だ。昨年に引き続き2年連続の優秀賞となった。



左から大坪さん、白石さん、弥富さん

部長の大坪和真さん(3年)は「新聞の制作には本紙NEXUSを印刷するハザマ印刷の方、取材に応じてく

部説

土台となる
情報の集め方

テレビや新聞を見ない人は「どうせ偏向報道ばかりだ」と思う人多いだろう。しかしそれだと土台となる情報すら見逃すことになる。情報が溢れているネットニュースは人によって集める情報が異なり、情報を共有するのは難しい。今一度マスメディアの必要性を見直すべきだ。

最近ではテレビ離れが進んでいる。しかし、テレビは情報を得る上で重要なツールだと、私は思う。今年は戦後80年ということで、テレビではアジア太平洋戦争に関する特別番組がいくつも放送されている。我々も戦後80年の特集記事を作成しようと、部室で話していると顧問の先生が「みんな今年が戦後80年だと知ってるのか」と投げかけた。私は流石に皆知っていると思っていたが、数人が「今日の話で初めて知った」と言った。「テレビでやってるよ」と言う、そもそも見ない人が多く驚いた。

テレビや新聞の場合、見たいものに辿り着くまでに色々な情報が流れる。戦後80年は流し見であつても目に

に留まるだろう。こうした情報はその時代の常識であり、会話の土台となる。手軽に見られるネットニュースを利用する人も多い。ただ、アプリによつて違うが、文字の大きさにメリハリがなく目に留まらない。また、タップして開かないと概要も分からず、流し見すら起こらない。そうすると、自然と入る情報は自分好みになる。

模型部 全国大会入賞
現地に通り
調整重なる

模型部制作の「森と海のあいだで」が全国高校鉄道模型コンテスト2025のレイアウト部門において理事長特別賞(全国5位)、JR九州賞、ベストライター賞のトリプル受賞を果たした。



走るバスは硬式野球部のものだ

松下遼弥さん(2年)は「福岡市地下鉄で新しく導入された4000系の姿を紹介したいと思い制作した。模型は設計図をもとに3Dプリンターを使って作成

弁論部 全国総文祭出場
柔らかな表情で
自分の思いを伝える

弁論部の大田勲胤さん(3年)は7月29〜31日に、香川県の宇多津町で開催された全国総文祭に出場した。今回披露した弁論「余白を彩れ!」は1年以上前から準備していた。大田さんは以前から考えていたテーマの中から、一番熱意をもつて話せると思うものを選んだ。

当日の弁論について大田さんは「緊張しすぎず、楽しくできた。練習ではタイムオーバーすることが多かったが、本番では時間内に収めることができた。入賞できなかったのは残念だが、全力を出し切れた」と話した。弁論をする上で大田さんは抑揚をつけることを意識している。具体例や経験を話



全国大会では弁士同士の交流の時間が多く取られた

外務省職員が講演

7月16日、本校の大会議室で岩波由佳さんによって「外務省職員による大濠生のための講演会」が行われた。講演では岩波さんが赴任したポルトガルやブラジルなどでの体験をもとに外務省の役割や外交官の職務が語られた。講演後には座談会も行われた。岩波さんは「言語に対して積極的になつてほしい」と語った。(足立)

かるた競技部

小倉百人一首競技かるた
第47回全国高校選手権
D級の部

準優勝 田中節さん(2年)
3位 井崎理乃さん(2年)

您好!朋友

ニイハオ ポンユウ
〒810-0044

福岡市中央区六本松2丁目7-7 河津ビル1F

TEL092-(731)8458



リボリ
Rivoli

福岡市中央区鳥飼2丁目1-1
大濠公園前交差点角

材料費の高騰による商品の値上げ、申し訳ございません。

第26回大濠生特集

初の女子マネージャー 対話で部を支える副キャプテンに

大濠史上初の女子硬式野球部員である波多江真佳さん（3年）は、昨年の夏から副キャプテンの一人として部を支えてきた。7月に引退した波多江さんに、3年間の振り返りと野球に対する思いを聞いた。
（七澤）

夏まで全ての練習・大会に駆けつけ やっと部員に

波多江さんは両親が共に野球の指導者をしてきたこともあり、生まれたときから、野球に囲まれた生活を送ってきた。小4で地元のソフトボールチームに所属し、中学では学校の軟式野球部で練習に励んだ。「野球に接するなかで、高校野球に携わりたいという思いが自然と出てきた」と波多江さんは話した。

立高校を目指して勉強したが、結局本校に入学した。本校の野球部は女子の入部を認めていなかったため、どうしたら自分が高校野球に関わることができるか悩んだという。

入学式直後に、野球部顧問の八木啓伸先生の元を訪ねた。これまでの自分の野球人生と、高校野球に携わりたいという思いを伝えた。八木先生は、練習が夜遅くまであることから、入部を



「2年間やりたいことをやらせてもらえて、感謝している」と波多江さん

断った。しかし数日後、思い冷めず、再び八木先生の所へ行く。「練習を見に来るだけなら良い」と言われた。波多江さんはそのときの思いを「嬉しかった。ただ、部員になれたわけじゃない。正式に部員として認めてもらえるように努力しよう」と思ったと振り返った。それから、全ての練習や大会、遠征に自力で駆けつけ、スタンドから見学した。練習場の草むしりもした。行動が思いを伝える第一歩になると信じた。

7月下旬、野球部が県大会で敗れた数日後、八木先生に保護者と共に呼ばれた。そして、特例として入部を認められた旨を言い渡された。波多江さんはそのとき「諦めなくてよかった。だが、役に立たないと入部した意味がない。これからチームに貢献できるように頑張らないといけない」と決心したそうだ。前向きな気持ちと同時に部員に受け入れてもらえるか不安もあったという。「同級生も先輩も話しかけてくれた。みんなの明るい性格のおかげで部に馴染めた。本当に感謝している」と波多江さんは笑顔で話した。

自分にできることを 考え続けた

硬式野球部では波多江さんの入部以前、故障した選手がフックの補助、道具の管理、練習場の整備などマネージャーの役割を担っていた。波多江さんは「自分ならマネージング一本に集中できるので、より大きく貢献できる」と思い、自分にで

楽しくて仕方なかった 高校野球

高校野球を通して学んだことを聞くと、波多江さんは「コミュニケーションは大事だと実感した。野球はチームスポーツなので、複数人でまとまって一つの方向に向かわないといけない。これは難しいことだけど、コミュニケーションを活発に取ること、団結できた」と振り返った。

部を辞めたいと思ったこと



ベンチから選手に声をかける波多江さん（左）

きることを探したという。練習では負傷中の部員とキャッチボールをしたり、試合では選手の打率などの成績を分析したりするようにになった。主将の東志恩さん（3年）は「数字を知ること、どうプレーを改善すれば良いか分かり、助かった」と語った。また、部員が遠慮なく何でも相談できるマネージャーを目指し、選手とは部活外でも様々な話をして信頼を深めた。

2年の夏の遠征中、部全体を俯瞰して見られていると評価され、八木先生から4人の副キャプテンのうちの一人に指名された。波多江さんは「さらにできることを増やしたい。部内のコミュニケーションを活性化させよう」と心がけた。そこで、日頃から下級生が困っているのを見つけると話を聞き、上級生に伝えた。



「部員とはしょうもないとも言える良い関係」と波多江さん

はあるか尋ねると「ない」と言い切った。「野球が好きだから。やりたいことをやり続けた2年間だった。楽しくて仕方なかった」と笑った。

KIMURA

木村カバン店

カバンならお任せを！
気楽にご来店ください！

福岡市中央区天神 2-9-114 tel 092-741-2429

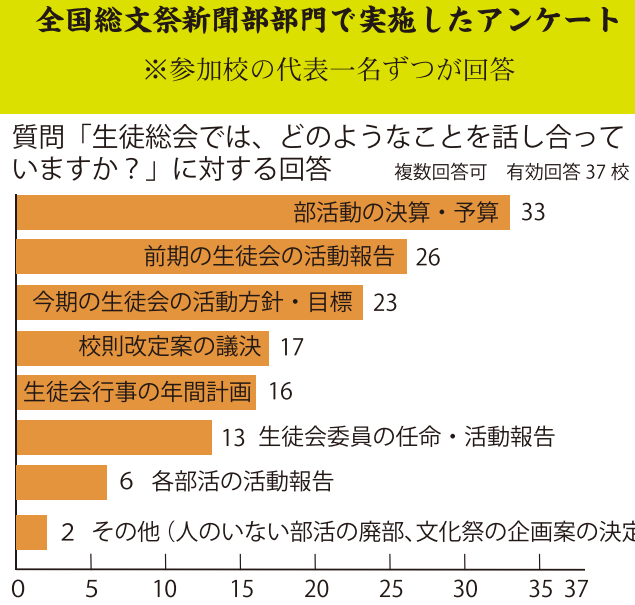
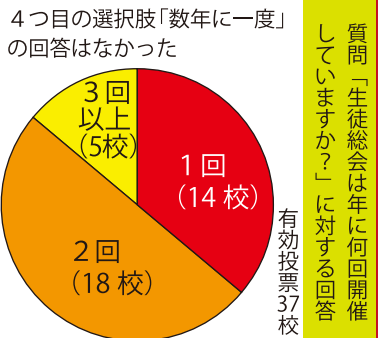
生徒総会 2年連続の流会 道筋を明確にして多様な内容を議論する

7月7日に生徒総会が行われた。昨年度の反省を踏まえて、ダイアログ形式を廃止し、帰宅禁止にして開催されたが、成立条件である全校生徒の3分の2以上の出席を達成できず、流会した。生徒会指導主任の梅津健太郎先生に本校の生徒総会のあり方について取材した。また、他校と比較しながら今年の生徒総会を振り返る。
(三木原、岩永)

生徒総会 他校の認識とズレ

我々は7月末、全国総文祭新聞部門の参加校に生徒総会の実施状況に関するアンケートを実施した。生徒総会やそれに準ずる行事があるのは回答があった41校中37校だった(北海道2、東北6、関東11、中部6、近畿3、中国・四国5、九州4)。他校と本校の生徒総会の

一番の違いは、話し合う議題の内容の数だ。特に他校では部活動の決算・予算や生徒会の活動報告・活動方針などが多い。なかでも「部活動の決算・予算」については8割以上の学校が話し合っている。本校ではこの内容はHJR代表委員会に各部の部長や学級委員長が集まり話し合われている。



生徒総会当日 空席が目立つアリーナ

生徒総会があると回答した37校のうち33校は参加が必須である。本校のように

任意参加の学校はごくわずかだった。しかし、修猷館高校のように任意参加であっても生徒が集まり、成り立っている学校もあった。前生徒会指導主任の古園井淳先生と梅津先生に、本校が生徒総会を任意参加にしているのはなぜかと質問すると、両者とも「生徒に主体性を持たせるためだ。自分たちで学校を変えようと主体的に生徒総会に参加することが重要だと考えている。強制参加だとそんな意気込みはないのに参加する人が現れるので話し合いが成り立たない」と話した。本校では定例生徒総会を毎年1回、臨時生徒総会を常任委員会が必要と認めた場合、または全校生徒の4分の1以上、もしくはHJR代表委員会の過半数が必要と認めた場合に開催すると生徒会規約で定められている。しかし、本校では昨年まで長らくの間は生徒総会が開催されていなかった。今後の開催について梅津先生は「生徒たちの所属感を高められるため、できることなら毎年開催したい。もし執行部やHJR代表委員会強制参加にしたいとの声が上がれば、来年は強制参加でもいい」と話した。

生徒総会の改善案

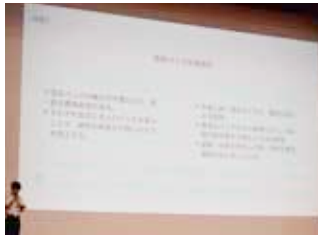
他校の生徒総会の様子を踏まえた上で、今後の本校の生徒総会を意義あるものにするにはどうしたら良いのか、新聞部の提言を記す。

校則以外も話し合う

生徒総会で話し合うべき内容は執行部の活動報告・活動予定と、学校行事についての情報共有だ。大濠生の多くは、生徒代表である執行部の具体的な活動内容を把握していない。また、今年の予餞会是有志企画を募集しているが、行事説明がなかったため、1年生は予餞会の存在や何をする場か知らないのではないかと。今年2年の本校の生徒総

成立後まで見据えて 原案を作る

アンケートで「皆さんの高校の生徒総会はどう開催できていると思いますか？」と質問し、その理由も合わせて回答してもらった(右下表)。回答のなかで注目したのは、他校では執行部が原案を作成している点だ。本校の執行部も事前に議題から規約に書く文言までを構想した原案を作り、開催までにそれらを生徒に伝えるべきだ。



執行部生徒が議長を務めたが、本来は生徒からの承認が必要である

質問「皆さんの高校の生徒総会はどう開催できていると思いますか？最も当てはまるものを一つお答えください」に対する回答

有効回答 37校

回答	校数
うまく行われている9校、そこそこうまく行われている13校	22
どちらとも言えない10校	10
あまりうまく行われていない2校、うまく行われていない3校	5

・執行部が生徒総会のために常に活動しており、基本的に生徒主体で行われているから

・毎年開催されているから

・毎回自由参加だがほぼ全員が参加し、活発に議論している

・議題の詳細をあらかじめ聞かされることはほとんどなく、大抵の場合は賛成票が勝つから

・進行はスムーズだが、しっかり考えずに賛同する人が多い

・定期的に開催されているが、生徒総会の時間が短くて十分な議論ができない

・進行為形式化されていて生徒の意欲が乏しく、原案が次々に可決されている

・生徒からの質問に回答するのは生徒会なのに、回答を先生が作っている

校内食堂

いつでもほっとするおいしさ

すずらん

・Aセット ... 530円
・Bセット ... 470円
・カッカレー ... 450円

桜坂にある音楽スタジオ

リハーサル レコーディング スタジオライブ 配信

STUDIOstaff

REHEARSAL&RECORDING STUDIO

学生割引

音響・楽器・照明機材、各種レンタル承っております。

CALL : 092-712-2206 福岡市中央区桜坂 2-5-45

MANGIA

福岡市内、近隣地域
金額に応じて無料配達

092-531-9888
10:00~17:00受付
http://www.mangia.jp/
福岡市中央区小笹1-22-25

全力応援

キミの笑顔が原動力

福岡大学附属大濠中学校保護者会

〒810-0044 福岡市中央区六本松1丁目12番1号
TEL (092) 712-5828



11日の広島駅の改札口の様子

中、の駅で停まつてしまつた。停まつた直後は19時ごろに運転再開予定だと車掌から放送があった。しかしなかなか再開せず、時間を潰しているうちに再度放送があり、21時ごろ再開の予定に変わった。結局、停まつた駅で下車してタク

8月10日には広島県で剣道I日決勝が行われていたが、大雨のため部員はその日のうちに福岡へ帰ることができなくなった。大雨の影響により山口県的美祢IC以西の山陽自動車道が丸一日通行止めとなった。関門海峡を渡れなくなった部員は、大会の運営側が用意したホテルに泊まることになった。応援に駆け付けた保護者は、一般道で十数時間かけて帰つたそうだ。新聞部も剣道I日と10・

広島で多くの
人々が立ち往生

帰宅困難者で駅は混雑 本州から九州への交通が分断

11面の戦後80年特集の取材のため、9・10日の2日間広島に滞在する予定だった。10日は朝から雨が降っており、剣道の試合中に雨はさらに強まった。その影響で、13時半から広島・博多間の新幹線が運転を見合わせた。また、我々は当初16時発の高速バスで福岡に帰る予定だったが、14時過ぎに運休が決まった。急いで宿泊先を探するため、広島駅で30分間あちこちに電話をかけて、やっとのことで郊外に宿泊先を見つけた。在来線で宿泊先の最寄り駅へ向かっていたが、電車が大雨の影響により17時15分ごろに途

シを呼び、途中のミスターマックスで衣類などを購入しながら宿泊先へ向かった。次の日も7時半から在来線が運転見合わせとなり、路線バスと新幹線を乗り継いで広島駅へ向かった。宿泊先最寄りのバス停で待つ人は50人を越え、バスが来ても全員乗れず「おい！割り込むな」と怒声もあげる人もいた。駅で切符を買うために並んでいると新幹線が到着したため、駅員から「運賃は降りた駅で支払って下さい」と言われた。

その後広島9時50分発のぞみ1号に乗車した。同じ車両に乗っていた神野寛

新幹線利用者は 怒りや不安

子さんたち5人家族は、10日に愛知県から移動中、大雨の影響で新幹線が岡山行きになった。岡山で宿泊先を探すため電話を手当り次第にかけ、やっと見つけたそう。神野さんは「岡山駅は人で混雑して暑く、私と家族はイライラしていた。駅ではお土産などを見て時間を潰した。予定が崩れてしまったのが一番困った。新幹線の切符代がどうなるのか心配だ。これから飯塚へ行くが、在来線が動いていないため大変だ」と語った。

駅員は
対応に追われる

11日の11時時点ではまだ九州新幹線が運転を見合わせていた。博多駅は広島



新幹線を降りて博多駅の改札口へ向かう途中



券売機の行列が駅ビルの外まで続く



在来線が止まり博多駅筑紫口でタクシーを待つ人々



天神の道路はすねあたりまで冠水していた

東区に住む村瀬優さん(2年)は、部活帰りに雨の被害に遭ったという。学校から家までは車で送迎してもらっていたが、帰り道の途中で冠水により車が少しずつしか動かなくなつてしまった。村瀬さんは「タイヤの半分くらいの高さまで水位が上がつていた。家の近くの川は氾濫しそうになっていた」と振り返った。

東区の貝塚駅では、地下鉄箱崎線は運行していたもの、接続する西鉄貝塚線

福岡の道路は 川と化す

もたらした。渡辺通りや福岡サンプレスの近くは、道路が冠水して川のようになっていた。JRのほか、普段めつたに止まらない西鉄バス・電車が夕方ごろから運転を見合わせた。天神駅や博多駅では帰宅困難者が多く見られ、タクシーを待つ人々で行列が

水が跳ね上がり、シャッターの隙間から入ったのだろう。盆休みで豪雨から数日経つてから店を開けたが、まだ土や泥が店内に残っていた」と話した。

東区に住む村瀬優さん(2年)は、部活帰りに雨の被害に遭ったという。学校から家までは車で送迎してもらっていたが、帰り道の途中で冠水により車が少しずつしか動かなくなつてしまった。村瀬さんは「タイヤの半分くらいの高さまで水位が上がつていた。家の近くの川は氾濫しそうになっていた」と振り返った。

東区の貝塚駅では、地下鉄箱崎線は運行していたもの、接続する西鉄貝塚線

今年の夏は日本各地が豪雨災害に見舞われた。西日本では特に8月8・11日の巨大な線状降水帯による豪雨で、死者や行方不明者が出た。しかし、補習もない連休中のごとであり、家から全く出なかつたり、あるいは関東などに旅行や帰省したりしていた人は、被害の様子を具体的に知らないのではないだろうか。新聞部は被害を受けた商店や大濠生に当時の様子を取材した。身近な地域にも危険が差し迫っていたことを知ってほしい。(川崎、長谷川)



ほぼ全ての JR の路線が止まった
※8月10日 19:45 更新

相次ぐ集中豪雨 県内各地で冠水などの被害



オムツ類が特に重宝された

福岡県では、9月に入ってから局所的な集中豪雨が頻発した。9月15日には大野城市が大雨に見舞われ、イオン大野城ショッピングセンターでは、店内1階の床が水浸しになった。従業員は水を外に引き出す作業に追われていた。また、エスカレーター周辺の床には、ペットシートなど吸水性の高い商品を急遽開けて敷き詰めていた。



記事に掲載している目立った被害があった場所
Google Maps にて作成

TATEISHI

株式会社 立石 売店

文具・学校指定・教科書・その他

【大濠中・高等学校購買部】

TEL 092-753-7750

油山病院

精神科・内科

ストレス・うつのご相談／リワーク(復職支援)

〒814-0171 福岡市早良区野芥5丁目6番37号 TEL 092-871-2261(代)

医療法人 湊江堂 理事長 三野原 義光 (S56年卒)

MEDETAIYA

タイヤキカフェ

営業時間 10:30 - 19:00
定休日 毎週木曜日

070-8466-0676 @ medetaiyaropponmatsu

戦後80年特集

ヒロシマ・ナガサキを語り継ぐ人々

今年にはアジア太平洋戦争の終結から80年になる。中東や東欧で核保有国が当事者とした紛争が激化している今こそ、被爆の実情や核廃絶への思いに耳を傾けるときだ。被爆者の吉崎幸恵さん、中村国利さん、奥田三枝子さんと、高校生平和大使たちに取材した。

(熊谷、原岡、松田)

「誰にも同じ思いはさせない」死者に代わり核廃絶を訴える

裏切らせないようにするためだという。

「地獄は見ていない」被爆の実態伝える

吉崎さんは現在、伝承活動に力を注いでおり、中学校などに出向いて講話を行っている。その際、様々な被爆者から集めた体験をもとに、一人劇や詩の朗読をしている。



「核兵器と生物は共存できない」と語る吉崎さん

当てをしてもらった。仕事をしていた両親はいずれも胸と背中火傷を負った。爆心地から1.4km地点で被爆した従兄を探し回り、連れ帰ったものの血を吐いて9日後に亡くなった。ただ、自宅は爆心地から3.5km離れた場所、かつ熱線が山で遮られたため、さほど被害は大きくなかった。

1985年に吉崎さんは1ヶ月弱かけてアメリカ西部を回り、被爆の実情を訴えた。アメリカには原爆投下を肯定的に捉える人もおり、対応に苦心する場面もあった。「原爆投下は戦争を終結させたという点で人命救助だ」と主張する元オランダ兵と一晩中議論したこともある。話は平行線のままだった。

ただ、アメリカにも原爆を否定する人はいた。原爆開発の中心的存在だったオッペンハイマー博士の息子には「私の父は恥ずべきことをした」と懺悔された。また、原爆投下時に随伴機から気象や着弾の観測をしていたという元米兵は、まるで自分が原爆投下を指示したかのように責任を感じていた。吉崎さんはその真摯さに心を打たれて涙ぐんだ。

唯一の被爆国日本核廃絶に力を

7月5日、草香江公民館で日本原水爆被害者団体協議会(以下、被団協)の中村さんが講演を行った。「唯一の被爆国である日本が、世界平和のために核兵器廃絶に力を入れるべきだ」と訴



「戦争を自分事と考えて」と中村さん

中村さんは1歳のときに、長崎の爆心地から2.5km離れた地点で被爆した。14年前に被団協に入会し、今は九州ブロック代表理事を務めている。2024年10月、被団協はノーベル平和賞を受賞した。12月に行

れた授賞式には中村さんも参加した。「被団協の代表のスピーチ後にスタンディングオベーションが起こり、心から感動した」と語った。

原爆から出る放射線はDNAを傷つける。奇跡的に生き延びた人も、原爆症によつて若くして亡くなった。「彼らは亡くなる直前まで戦争さえなければ、原爆さえなければと毎日苦しんでいた。だが、政府は終戦後12年間も被爆者に手を差し伸べることはなかった。被爆者のなかには差別を恐れて被爆したことを隠している人も多い」と中村さんは語った。

高校生平和大使被爆者の声を聞ける最後の世代



「原稿のままではなく自分の思いを加えて話すことが大切だ」と語る中村さん

直方高校2年の中村心優さんは、第28代高校生平和大使(以下、大使)の一人だ。今年是全国から24名が選出された。街頭で核兵器廃絶を訴える署名活動を行ったり、スイスで開かれる国連軍縮会議を傍聴したりしている。選考会の結果、福岡では大使に中村さん、長崎研修代表に6名が選ばれた。

中村さんは小学生のとき、ギターを教わっていた先生から平和の歌や大使について話を聞いた。中学生になり実際に長崎を訪れ、大使の話を聞いた。そこで小中学生に平和授業を行っていることを知った。そして、中学の校長先生に「授業に大使を呼んでほしい」と伝えた。結果、

その年に平和授業が実現した。それから、次は自分が伝える側になりたいと思ったそう。そして、中3の冬から署名活動に関わり始めた。

中村さんは「昨年は活動に興味を持つ人が少なかったが、1年間活動を続けたことで声をかけてもらうことが増えた」と話した。また「被爆者の平均年齢は86歳を超えている。私たちが生の話を聞ける最後の世代だからこそ、学んだことをしっかり伝えていかないとけない」と意気込みを語った。

西南学院大学1年の藤野眞悟さんは韓国にルーツを持つ。昨年は長崎研修代表として、韓国人被爆者の存在を伝えることを主軸に平和活動に取り組んだ。現在はOBとして参加している。高校生になったとき、韓国人被爆者を支援する父に影響され、自分の力で新しい活動をしたと思ったそう。8月の長崎研修では、韓国の高校生の引率と通訳を行った。藤野さんは「日本だけでなく、世界を巻き込んで活動する必要がある。自分はその架け橋になりたい」と語った。

96歳 初めて語る 広島市の被爆体験

「忘れるんですよ、歳とったら」「悲惨なけえ、えっと喋らん。よう聞かれる人なら思い出すことも多からうがねえ」今回取材をお願いして、奥田さんは初めて被爆体験を人前で語った。

原爆で弟失う 骨すら見つからず

奥田さんは16歳のときに広島で被爆した。そして、最も歳の近い弟である茂さん(当時14歳)を亡くした。「骨も抱かれん死に方して、残念ですよ」と悲しそうに話した。

1945年8月6日、茂さんは爆心地に近い土橋で建物疎開に従事していた。その日、奥田さんが住む江波は夏祭りの日だった。朝7時ごろ、母が茂さんに「今日は祭りじゃけえ早う帰りんさいよ。」馳走を作って待つとるけえ」と声をかけた。これが茂さんとの最後の思い出。



「戦時中の話をする人はもういない。下の弟2人はまだ幼かったから話が合わない」と奥田さん

7日、帰つてこない茂さんを探しに、奥田さんは父と土橋へ行った。動けない人や倒れて亡くなっている学生を一人ひとり確認した。父はさらに10日ほど、被爆者が収容された似島まで探し回ったが、茂さんはいなかった。茂さんの同級生が江波に帰って来たが話ができる状態ではなく、しばらくして血を吐いて亡くなった。10月ごろ、焼けた校舎に



広島市周辺の地図。地理院地図より作成



広島平和記念公園には外国人も多く訪れている

語られることが全てではない 想像力を働かせて

我々は広島市現代美術館でこの夏にあつた特別展「記憶と物」に足を運んだ。被爆者の声を集めたアートプロジェクトの参加者による匿名の座談会の記録に、次のような記述があつた。

「……インタビューで話してくれと有り難い。だけど、どうしても、やっぱり話せない」とが膨大にあつて、話せること、話したことはそのほんの一部だつて、断片的な情報から感じます。私のある親戚が、すごい被爆体験をしていると母からなんとなく聞いていた。でも本人は一切話さなかったし、母も「被爆した人は言わんけん」と、あえて語らせることはない。これはよく広島の人がつぶやく言葉です。

本当に語れないことっていっぱいあるんだけど、語ら

奥田さんのように、被爆体験を思い出すのが辛く、語らない被爆者は多い。吉崎さんは「小中学生への語りではグロテスクな話は避けざるを得ない」と語った。また、一番ひどい惨状を見たであろう爆心地付近の被爆者は早くに亡くなっている。被爆者が語る内容ですら、あつたことの全てではない。私たちが知り得る情報が全てではないことを理解した上で、想像力を働かせることが大切だ。

100th Anniversary since 1916

積文館書店

読み継がれて100年

株式会社 積文館書店

〒811-2204 福岡県糟屋郡志免町田富1丁目1-1 (外商部)

TEL 092-957-7600 FAX 092-957-7611

＜メディアを通して豊かさを創造する＞

医療法人 脳神経外科

クリニック高木

脳ドック

機能訓練室あり、MRI撮影対応

理事長 高木 忠博 (S43年卒)

福岡市早良区弥生1丁目4番8号

☎092-844-1211

地域活性化に取り組む

高校生の奮闘

13面で取り上げた「未来を作る高校生チャレンジ」のような制度を利用して、社会事業を立ち上げる高校生が増えている。福岡雙葉高校1年生の山崎蒼生さんと、香川県の英明高校3年生の亀井遙加さんに取材した。

(熊谷、古賀)

特産品で発信する 村の魅力

雙葉中学2年生のとき山崎さんは学生団体BPCを立ち上げた。主に朝倉郡東峰村の特産品の販売や魅力発信を行っている。



トリアス久山での出店は大盛況だった

きっかけは自分の曾祖母の家を訪れたときに、美しかった田舎の風景が空き家や耕作放棄地だらけになっていたことだ。そこで、福岡の過疎地域を調べ自分たちに何ができるのかを考え、東峰村の商品を文化祭で販売することを思いついた。

山崎さんは小石原焼窯元である「やままる窯」を一人で訪れ、商品を販売させてもらえないか交渉した。「最初はとても驚かれたが、熱意が伝わり受け入れてくれた」と振り返った。それから紹介してもらった他の窯元や地域の物産館とも協力し、棚田米やパームクーヘンなどを文化祭で販売した。手応えを感じた山崎さんは、BPCを立ち上げた。また、BPCの活動を広めるため公式Instagramを開設している。「マルシェの案内や東峰村の

美しい風景、観光地などを随時発信していきたい」と語った。BPCは「未来を作る高校生チャレンジ」に採択された。山崎さんは「審査会のときに小石原焼を持って行き、審査員に触れてもらったことが採択に繋がった。県からの補助金のおかげで、今まで出店費用が高くて諦めていた福岡市内のイベントにも参加できる」と話した。山崎さんは「小石原焼などの伝統的工芸品という、値段や格式が高く自分には関わりの薄いものだと思う人もいるかもしれない。しかし今では千円台の手頃な価格帯の商品も多く、日常使いにも適している。ぜひ手に取って身近に感じてほしい」と笑顔を見せた。



商品の輸送を家族総出で行う山崎さん

高松盆栽を若者にPR 高校での驚きが生んだ地域活性化

「サークル「かみんぐ」を設立した。活動の起りは、高松市が主催している「たかまつ政策アイデアコンテスト2024」にクラスの友達と応募して、アイデア賞を受賞したことだ。



7月のイベントには小学生6人が参加した

盆栽の産地である鬼無地区出身である亀井さんは、高校の友達が高松盆栽をほ

んど知らなかったことに驚いた。鬼無地区では小学校で1人1鉢、盆栽を育てていたほど盆栽が身近だったためだ。高松市は全国シェアの約8割を占めるほど盆栽生産が盛んだ。だが、その実は県内の人にもあまり知られていない。亀井さんは「盆栽は高齢男性の趣味、というイメージが強い。若い人に向けてSNSを活用したり、盆栽を剪定するときの音を使ったASMRを企画したりしている。また、盆栽で一般的に使われる黒松以外の木を使ったり、かわいらしい鉢を使ったりするなどの工夫も凝らしていきたい。盆栽への硬いイメージを払拭し、若い人の興味を惹けるように頑張りたい」と笑顔で語った。

かみんぐは、7月27日に高松市内で小学生に向けてこけ玉作りや、盆栽にまつわるクイズなどのイベントを行った。これらのイベントの運営や使用する盆栽は、賛助会員のJA香川が協力している。

亀井さんは、若者にも高松盆栽の魅力を広めるべく「盆栽と言ったら高松



「盆栽を癒しにしてほしい」と語る亀井さん

六本松散歩 ROPONMATSU WALK

六本松近郊のグルメ・イベント・お得な情報を発信中！六本松のことがもっと好きになる地域情報サイトです。

Instagram



@rokusyoren



六本松商店連合会



六本松散歩

検索

ravi

tel 092-753-4800

address 810-0044

福岡市中央区六本松3-6-7
MODERN ASPIRATION
六本松ヒルズ101



城南区
国道202号線
六本松駅
長楽寺
六本松三丁目

北九州空港の靴磨きおじさん 無償で行う汚れ落とし



「自分で考え、動く『考動』が大事だ」と語る松石さん

北九州空港に時々現れる「靴磨きおじさん」こと松石慎己さん。松石さんは航空会社スタッフライターの元社長である。退職後、空いた時間を使って靴の「汚れ落とし」を無料で始めた。靴磨きはプロのするもので、自

分がするのは靴の「汚れ落とし」だという。松石さんには社長時代から大切にしている言葉がある。江戸時代の良寛和尚の「俺が俺の『我』を捨てて、おかげのおかげの『下』で生きよ」という言葉だ。松石さんは「自分のため、金のために動くことも重要だ。しかし、自分で考え、他人のために動き続けることも大事である。物事を続ける秘訣は行動に価値や喜びを見出すこと。靴の汚れ落としで一番嬉しいことは、お客さんが喜んでくれることだ。体が動くうちは続けたい」と語った。

毎年ロンドンで開催される靴磨きの世界大会で西上さんは優勝経験がある。西上さんは靴を磨く際、光の当たり具合など全体のバランスを考え、あえて照からせない部分を作っているという。より靴を美しく魅せられるよう、工夫を凝らしながら磨

いているのだ。靴を磨くことはただの単純作業ではなく、様々なことに気を配る必要がある。「靴磨きをやっていると、色々なことに興味が湧き、普段気になけないような物事に気づくことができるようになる。その気づきが仕事や趣味などの

また、身だしなみを整える際、靴はスーツや髪型と比べて、後回しになりがちだ。だからこそ、靴を磨く人は隅々まで物事を気にかけているという印象を持つてもらおうことができる。

靴に目を向けると 気づきを得られる

勉強や部活などで多忙な日々を送っている大濠生が多いだろう。そんななかで周りの人への気遣いや身だしなみ、ものの扱いを疎かにしてしまっていないだろうか。今回、靴磨きのプロである西上悦弘さんに取材して、改めて自分の態度を見つめ直した。

(吉瀬)

プロとして伝えたいこと 靴を磨いて自分を磨く

成功に繋がる」と西上さんは語った。普段から自分で靴を磨いている人や、専門店で靴を磨いてもらっている人から見ると、靴の汚れ具合でその人の性格や人間性を読み取ることができるといふ。「特に企業の社長など重要な役職に就いている人ほど、日常的に靴を磨いているため、自然と相手の靴を見ている」と西上さんは話した。



西上さんが磨く前（左）と後（右）



「靴磨きは特別なことではない。習慣として行ってほしい」と語る西上さん

人生の相棒 を育む

靴に限らず、自動車や家電など、工業製品には製造した国や地域の文化が反映される。大濠生が普段履いているローファーも現代日本の文化が反映されている。学校指定のローファーは表面に特殊なコーティングが施されており、手入れの際使うクリームが浸透しにくい。また、靴底を接着剤でくっつけるセメント製法で作られている。靴底の交換が難しく履き潰しが前提となっている。「日本製の靴は、なるべく安価で壊れないよ

う丈夫に作られているが、壊れたら修理せず捨てることを前提としている。一方、欧州製は壊れることを前提に作られており、その分購入後のアフターサービスや補修が手厚かったり、自分で簡単に修理できたりし、手入れしながら長く使うことを意識している」と西上さんは話した。かつて日本にも欧州のようにものを修理し、長く使う文化が根付いていた。しかし、徐々に使い捨て文化が根付き、ものを大切にすることが減っている。本校職員室の忘れ物・落し物コーナーにたくさんのもので、大濠生のものへの思いの表れだろう。しかし、ものを大切に長く使うことは自分の生きた証となる。「ものを長く使っていると傷がつく。だが、その傷の一つひとつが思い出となり自分の歴史の蓄積となる。私は結婚式のために購入した靴を大切にし、今でも大事な場面に使っている」と西上さんは語った。



焼肉専門
TANAKA
精肉店

福岡市中央区六本松1丁目10-3

tel 092-731-2177



@TANAKA_SENKUTEN_STAFF

※お弁当購入時に本紙持参でお肉29%増量致します！



医療法人

畠山内科胃腸科クリニック

〒810-0024

福岡市中央区桜坂1-3-31

(地下鉄七隈線「桜坂駅」より徒歩1分)



TEL & FAX

092-761-7453

院長 畠山 定宗

耳より見
美容院界の
ファーストクラス

六本松航空は護国神社付近にある美容院だ。待合室はファーストクラスのラウンジを、カッツスペースは飛行機の機内を模している。また、本物のJALの販売ワゴンや金属探知機が置いてあり、お客さんは、まるで飛行機に乗っているかのように感じられる。

オーナーの島田拓行さんは「お客さんにファーストクラスのようならラックスでできる空間でサービスを受けてほしい。だから、飛行機を店内のコンセプトにした」と話



美容院の中には飛行機（カッツスペース）

スタイリストの金原愛珠さんは、CAの立ち振る舞いを意識してカットしている。金原さんは「お客さんにはワクワクしながら、非日常空間で至福の時を過ごしていただきたい」と語った。（足立）

保護された猫
新しい家族のもとへ

8月3日、ペットショップ「P2 西長住店 Love Nature Charity 棟」でねこ99福岡などの保護団体主催の保護猫譲渡会が行われた。譲渡会は定期的に各地で行われる。会場の猫は全て元野良猫で、保護団体に捕獲されて、病院で不妊去勢手術を行い、健康だと確認済みである。猫の性別や性格、注射歴な

ど一緒に住むために必要な情報が書かれた紹介カードがケージに貼ってあった。新しく猫を家族に迎えたい人はカードを見たり、保護主に質問をしたりしていた。参加している猫は大きな



ケージの中からこちらをおびえて見ている



猫への愛が全身から伝わってくる中岡さん

猫から子猫までいる。人に対しておびえている猫もいれば、人好きでケージの外に出た瞬間に、飛びついてくる猫もいた。彼らは新しい『ずっと』の家族に迎えられて、幸せな猫生を歩む。

地域猫には適切な餌やりが必須

地域猫活動では置きエサは厳禁だ。置きエサがあると、他の地域から流入して来た野良猫が勝手に食べて、その地域に住みついて繁殖してしまう。また、カラスやイタチなど他の動物を寄せ付けてしまう。そのため、ボランティアは猫がエサを、食べ終わるまでその場を離れずに見守っている。地域に暮らす猫を一匹ずつ確実に把握して、地域猫と流入してきた野良猫を判別することも、地域猫ボランティアの大切な仕事だ。

また、森さんはエサやりの問題について「エサを与える人がいるから野良猫が増える」と誤解している人が多く、ボランティアが地域住民から非難されることがある。しかし、エサを与えられず栄養状態が悪い猫は、一度の出産で多くの子孫を残そうと多産になる。不妊去勢手術された猫はエサを与えても増えることはないため、全ての野良猫に手術することが何よりも大切だ」と話した。



継続的に活動を行う大切さを強く主張した森さん

と誤解している人が多く、ボランティアが地域住民から非難されることがある。しかし、エサを与えられず栄養状態が悪い猫は、一度の出産で多くの子孫を残そうと多産になる。不妊去勢手術された猫はエサを与えても増えることはないため、全ての野良猫に手術することが何よりも大切だ」と話した。

野良猫を健康に 獣医のサポート

明永さんは、野良猫の不妊去勢手術を専門に行う「なな。猫達のための病院」の院長だ。忙しい月では100匹もの野良猫に手術している。一般の動物病院では手術前に麻酔の耐性などを検査するが、明永さんの病院では検査しない。「検査しないと手術失敗のリスクは大きくなるが、野良猫にとつては検査自体が負担にもなる。また、検査を省くと手術費用を安くできる」と明永さんは説明した。

野良猫の診察は普通のペット



猫が好きで、病院を立ち上げた明永さん

トと比べると困難だ。基本的に野良猫は人に慣れていないため、動物病院での検査のときに暴れてしまう。また、人に慣れている野良猫は、縄張り争いやエサの取り合いなどで他の野良猫に負けてしまい、長く生きることができない。「だからこそ、人に慣れている猫は保護猫になれたら、と思いついて、地域猫のボランティアと協力して、猫の体

調や与える薬等をLINEで写真を送ってもらい確認している。外で暮らす猫が動物病院に連れて行かれることは少ないため、対応が早いと症状の悪化を防ぐことができる。

「猫の島」として有名な新宮町の相島は、以前は猫の手術どころか健康管理もされず、島民の数より猫の数が多かった。子猫の死体が多端に多くあったという。相島の野良猫は不妊去勢手術を施され、4年間で約250匹から、約100匹ほどに減った。中岡さんは定期的に相島に通って地域猫の診察を行っている。

人に見守られて 生きている地域猫



**一匹でも多く
野良猫に不妊去勢手術を**

みなさんは公園や路地裏で見かける猫をすべて「野良猫」と一括りに考えていないだろうか。実はそうした屋外で暮らす猫のなかには、人に保護されている「地域猫」がいる。地域猫推進団体マチネコの添島久美子さん、一般社団法人ねこ99福岡の森真琴さんと、獣医師である明永佳子先生、中岡典子先生に取材した。（松田）

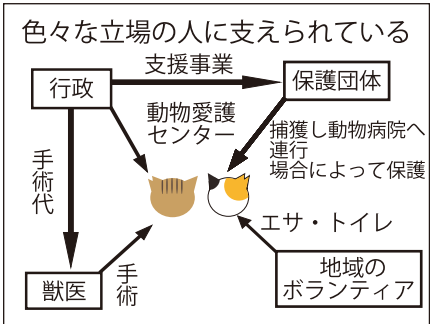
厳しい環境で生きる

野良猫を助ける

ペットとして家で飼われる猫の生物名はイエネコといい、大切に飼えば20年以上生きることある。元々は鳥やトカゲなどを獲って食べて生きるヤマネコが、人間



耳が桜型に切られている猫



野良猫に対する取り組みは保護団体の人が依頼を受けて、エサの入った捕獲機におびき寄せて捕まえることから始まる。猫は夜行性のため、夜に捕獲機を設置する。翌日、事前に予約しておいた動物病院で捕獲できたネコに、不妊去勢手術を行う。回復後、健康な猫や人に慣れていない猫は、捕まえた場

**猫と人の幸せを
繋げる取り組み**

野良猫に対する取り組みは保護団体の人が依頼を受けて、エサの入った捕獲機におびき寄せて捕まえること

地域猫ボランティアの声



見守られながらご飯を食べる小夏くん

本校の近くの梅光園緑道では、地域猫が15匹ほど暮らしている。夕方や夜の時間帯にボランティアが集まって、自分たちで名前をつけた地域猫にエサを与えてかわいがっている。ボランティアの横山けい子さんは「緑道にいる猫たちはみんな人懐っこくて、警戒せずに触らせてくれる。賢くて、人の言葉が分かっているようだ」と笑って話した。

所に戻して地域猫となる。ただし、人に慣れている猫は外の生活に適さないため、団体や個人で保護して「保護猫」となる。

地域猫活動をする人は、猫用のトイレを設置したり、毎日適正な時間にエサを与えたりして生活を補助している。トイレを設置したことで、地域猫が決まった場所ですぐにトイレをするようになり、地域の糞尿被害は減った。また、安定してエサを得られるようになったことで、地域猫は5、6年生きられるようになった。

福岡市は、令和5年に「飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進事業」を始めた。野良猫が多くいる地域の町内会や、地域猫・保護猫活動に従事する個人や団体、猫の多頭飼育崩壊が起きている現場の人に対して、無料で不妊去勢手術ができるチケットを年に1度、抽選で計1600枚配っている。

六本松航空
〒810-0044
福岡市中央区六本松2-30 1階
TEL 092-781-2000

hair Designer
金原愛珠

ぜひファーストクラスへ
ご搭乗ください!!

×お買いいただく際は10歳以上の方のご本人様確認書類が必要です。

Xやってる?→
K-POPトレカ
マンガ
ブックオフ福岡六本松店
1000~2000

ゲームソフト
売れる、買える
ポケカ
デュエマ
DVD
アニメグッズ

BOOK-OFF
ブックオフ福岡六本松店

NTT docomo
ドコモショップ
六本松店
TEL:0120-177-225
住所:福岡市中央区梅光園2-40-1

言いたいことは色々あるが、続きはWEBで

QRコード: YouTube, Instagram, X, TikTok

矢野店長

投影機が紡いだ

100年の物語

プラネタリアムの投影機が世に出てから100年以上が経った。この2年間はさまざまなイベントが開催された。そこで、明石市立天文科学館の井上毅さん、福岡市科学館の丹野佳代子さんにプラネタリアム投影機の歴史やイベントについて取材した。(佐久間)



黒子の投影機に
注目が集まる

2023(2025年)にかけて、JPA(日本プラネタリアム協議会)によるプラネタリアム100周年企画が行われた。2023年10月21日に行われたオープニングイベントでは、全国36会場とドイツのミュンヘンにあるメイン会場をZoomで繋げ、メイン会場でのイベントの様子をドームに投影した。また、ちょうど100年前のドイツと同じ星空を各会場で投影して、皆で同時に眺めた。2年間の企画は、プラネタリアム100年の歴史を振り返りながら次の100年について考えるイベントとなった。企画の実行委員長を務めた井上さんは「Zoomで



全国の会場がリモートで繋がる

時間を共有する一斉イベントは新しい取り組みだったの、印象に残っている。プラネタリアムのこれからの可能性を提示できたと思う」と語った。

丹野さんはイベントを振り返って「100周年というイベントを業界の人たちだけでなく、一般の方々とも一体となつて祝えたことが嬉しかった。中継で繋がった何千人もの人とともにハッピーバースデーを歌った。また、



「話をまとめるのが楽しかった」という井上さんの著書

普段はドームに映る星空を楽しむために投影機が見えない席を探すお客さんも多い。投影機に注目が集まる良い機会だったと笑顔を見せた。
100周年を記念し、井上さんは著書『星空をつくる機械』を刊行した。この本を書いたため約10年に渡って技術者の方に取材を重ねたそうだ。「日本ではあまり語られない投影機の歴史がある。どこにも書いていないので書き留めておきたかった」と井上さんは語った。

星空に国境はない 来年福岡で世界大会

2026年6月、福岡市科学館でIPS(国際プラネタリアム協会)の大会が開催される。IPSは世界50ヶ国の約500名が加入する世界最大のプラネタリアム関係者の団体で、2年おきに各国都市で大会を開催している。日本が開催地に選ばれるのは大阪以来30年ぶり、2度目のことだ。

開催が決まった瞬間を振り返って、丹野さんは「来る！という興奮と、来るのか」という重責の気持ち湧いた。100周年を経て新たなスタートを切る場所が福岡ということがプレッシャーだ。世界中のプラネタリアン(メーカー、学芸員、大学の先生、学生など、プラネタリアムに携わるあらゆる人)が一堂に会するとても貴重な機会なので、何らかの形で市民にも還元したい」と意気込んだ。

30年前に大阪大会を推進した人の多くが現役を退く世代となっている。日本のプラネタリアム界としては、今実施しておかないと日本に大会の記憶がなくなってしまう、という危機感もある。福岡市科学館は様々な期待を背負っている。
前回のベルリン大会に参加した井上さんは「日本は言葉の壁もあり、世界の状況をあまり知らないし、日本



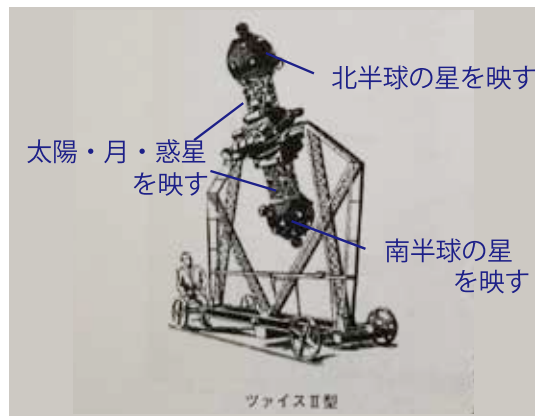
2026年のIPSの大会開催に向けて準備が進む

の状況も世界にあまり知られていない。来年の大会は日本の天文文化を世界に紹介する良い機会になるとともに、我々が世界のプラネタリアム事情を直接感じられる素晴らしい機会になる。一般の方にもその雰囲気を感じてもらうような仕掛けをしていきたい」と期待を込めて語った。
また、井上さんは大会を通して世界と日本のプラネタリアムの違いを知りたいと考えている。井上さんが昔訪れたドイツのプラネタリアムでは、クイーンのロック音楽を一時半に渡って大音量で流し、レーザーが幾重にも飛び交うエネルギーの塊のようなプラネタリアムショーがあり、驚いたという。日本でも多く見られる、星の説明をしてアニメ番組が流れるというプラネタリアムは海外ではあまり見られないようだ。

人類が星空を作った日

1923年10月21日、世界で初めてプラネタリアムの試験公開が行われた。ドイツ博物館の屋上に仮設されたドームには、満天の星が映し出された。映し出された人々の驚き、称賛の拍手を送った。

近代プラネタリアム誕生の物語は、ドイツの土木技術者オスカー・フォン・ミラーから始まる。ミラーは発明王エジソンが白熱電球を公開したバリ電気博覧会に参加し、技術の展示に強い関心を持った。芸術作品と同様、科学技術の発展も人類の文化功績として後世に残し、人々に知ってもらわなければならないと考え、ドイツ博物館をミュンヘンに設立するため協力者を集めた。ミ



1926年に発表された「ツァイスII」
※『星空をつくる機械プラネタリアム100年史』井上毅KADOKAWAより掲載

ラーは星空の仕組みを博物館内に持ち込むことを望んだ。光学機器メーカーであるツァイス社の技術者ヴァルター・パウワースフェルトは、大きなドームの中央に星の光を出す投影機を配置する、という光学式プラネタリアムを提案した。従来の設計は、穴を開けた薄い鉄板で半球のドームを作り、ドームの外を明るくして星のように見せるものだったため、このアイデアは全く新しいものだった。1925年5月7日、ついにツァイスI型と呼ばれるプラネタリアム投影機が、ドイツ博物館新館の落成式と同時に常設される日を迎えた。
ツァイスの技術陣は、投影機をさらに発展させた。ツァイスI型は北半球の固定した緯度の空しか投影できなかったが、ツァイスII型は南半球の恒星も取り付けられた。ツァイスII型はその後のプラネタリアムの基本の型となった。
ドイツ博物館のプラネタリアムの評判をきっかけにツァイスII型はツァイス社製品を代表するベストセラーとなり、世界へ広がった。

星に魅せられた2人が語る「星空の力」

丹野さんも井上さんも、プラネタリアムに興味を持ったのは仕事を始めてからだそう。星が好きで学芸員になった井上さんは「明石市立天文科学館に来たばかりのころは、新しい職場



「幼稚園でほし組だったことも星が好きになったきっかけ」と話す井上さん

また、空の楽しみ方について「夕暮れを見上げてみてほしい。都内でも公園でも、広いところで一番星を探してぼーっとするのは良い。空の色の変化がすごく綺麗だ。時の流れの変化を感じるのすごくいい経験になる。1人でもいいが、何人かでぼーっとするのもお勧めだ」と笑顔を見せた。



化石などの古いものが好きな丹野さん

丹野さんは幼いころ、小さな望遠鏡で月を見て天文に興味を持った。「追尾装置のついていない望遠鏡だと、見ている間に月が動いていく。それは声に出せない驚きだった。そこから神話の本などにも興味を持ち始めた」と語った。
高校生に向けて「疲れたら星空を見上げてみてほしい。昔から、人は空を見上げてきた。その時々で星の見え方は異なる。悲しいとき、辛いとき、見上げた空の星々に励まされ、勇気をもつたように感じた」と話す

人も少なくない。夜に星を見るということは、宇宙を見ているということだ。私たちの体の元素は、宇宙の元素と同じだ。私たちの身体の奥深く刻まれた、遠い人類の祖先に会っているような気がするのかもしれない」と語る笑顔は暖かい。

博多きょう重

ふぐ・あら・すっぽん

古賀大規 1998年卒

西鉄華院駅徒歩3分 営業:17:00~22:30(日曜定休)

福岡市中央区渡辺通2-3-24 TEL:092-771-1818

六本松食堂

〒810-0044

福岡市中央区六本松4-3-11

ビジネス・ワン六本松1F

旬鮮美味の海鮮料理!!

TEL:080-9145-3537

山下商店

有限会社

代表取締役 山下倫生 (H3卒) 取締役 山下矩生 (S33卒)

企業ユニフォーム製造・販売 (作業服・事務服・白衣)

大濠中・高の学生服 ・ ボタンダウン・シャツはお任せください!

お問い合わせは

092-291-1178

福岡市博多区上呉服町12-230

一般公開に制限

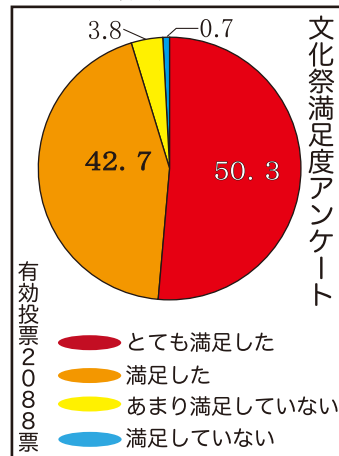
昨年よりも少人数で開催

9月13・14日に文化祭が開催された。今年は耐震化工事のため、安全に配慮して来訪者は高3の保護者のみとなった。一般公開がなくなった今年の文化祭について、文化祭実行委員長の山下紗凜さん(2年)に取材し、文化祭後に実施したアンケートとともに振り返る。(吉瀬)

昨年の課題を克服も満足度低下

アンケートでは「とても満足した」「満足した」と回答した生徒が93・0%と、昨年よりも4.1ポイント低い結果となった。このことについて山下さんは「一般公開が行われないことが1学期期末考査の直後に突然発表されたため、一般公開を楽しみにしていた生徒のモチベーションや士気を下げってしまった。その結果が満足度の低下という形で表れたのだ」と話した。

また、昨年問題



ろ」と語った。今年是一般公開がなかったため、昨年より混雑が解消された。アンケートでも「来訪者が少なく、混んでいなかったで回りやすかった」などの回答が多く見られた。山下さんは「今年は特に問題なく終えることができた。人が少なかったで冷房の効きが良く、昨年のように校内が暑くならず済んだ」と話した。

となったゴミの散乱も改善された。今年もゴミステーションが、食品企画の開催された教職員用駐車場に続く道の途中に配置された。また、数人の執行部生徒が傍に立っていた。「来訪者も含め、食品企画を訪れた全員が必ずゴミステーションの横を通る経路にした。そのため自然とゴミを捨てるようになったのだと思う」と山下さんは振り返った。



食品企画会場変更賛否分かれる

今年はい工事のため、食品企画の会場が従来の中庭から北側の教職員用駐車場に変更された。アンケートの結果、65・6%の生徒が来年は中庭で行ってほしいと答えた。一方、食品企画に携わった高3のみだと中庭50・6%、駐車場49・4%と意見が半分に分かれた。来年は中庭で開催してほしいと回答した人からは「駐

賑わいを見せる食品企画

車場は校舎からの距離が遠く、行きにくかった」(高3)「中庭のほうが賑やかで良いと思った」(高3)などの回答が寄せられた。一方、来年も駐車場で開催してほしいと回答した人からは「中庭より広く、快適に過ごすことができた」(高2)「縁日のような雰囲気良かった」(高1)などの回答があった。



丁寧にフランストーストを焼き上げる

人気食品企画ランキング

1位 3年1組 304票
グランメゾン大濠(フレンチトースト)
2位 3年9組 249票
宮口の焼き鳥 バキバキに焼け!
3位 3年8組 149票
喉乾いてませんか?(ジュースなどの販売)
有効投票 2003票
詳しくは新聞部公式Instagram(ohori_nexus72)で公開中

四コマ漫画 by 果物時計草



編集後記

今年、私たちは第29回全国高校新聞年間紙面審査賞で優秀賞を受賞しました。私たちが在籍している間に、2年連続で受賞できたことを嬉しく思います▼世間一般で、紙の新聞が読まれなくなっている現状は否めません。それでも、文化祭で普段話さない同級生や保護者の方が「いつも

NEXUS読んでます」と声をかけてくださいました。発行した新聞がたくさんの方に読んでいただけていると知って驚くと同時に、嬉しくもありました▼これからも部の綱領である「大濠生を巻き込み、親しみを持てる新聞を」を意識した新聞づくりをしたいと思います。これからも応援よろしくお願ひします。(佐久間)